

参 考 资 料

福岡市立東市民センター運営審議会要綱

(目的)

第1条 この要綱は、福岡市立市民センター条例施行規則第30条第2項の規定に基づき、福岡市立早良市民センター運営審議会（以下「審議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(組織)

第2条 審議会の委員の定数は、15人以内とする。

(委員の任期)

第3条 審議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 審議会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員のうちから互選する。

3 委員長は、審議会を総理し、審議会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、館長が必要と認めるときに招集する。

2 委員長は、会議の議長となり、議事を司る。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

附 則

(施行期日)

第1条 この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

第2条 この要綱の施行の際、現に審議会の委員である者は、この要綱の施行の日に第3条の規定による審議会の委員になったものとみなし、その任期は同条の規定による残任期間と同一の期間とする。

○福岡市立東市民センター運営審議会傍聴要領

(傍聴の手続)

第1条 運営審議会の会議を傍聴しようとする者は、会議の開催の15分前までに整理番号票(別紙様式)の交付受け、係員の指示に従って、傍聴席に着かなければならない。

(定員)

第2条 傍聴を希望する者が定員(10名)を超える場合には、抽選により決定する。

(入場の制限)

第3条 次の各号のいずれかに該当する者は、入場することができない。

- (1) 酒気を帯びていると認められる者
- (2) 会議の妨害となると認められる器物等を携帯している者
- (3) 前2号に掲げるもののほか、会議を妨害し、又は他人に迷惑を及ぼすと認められる者

(傍聴人の守るべき事項)

第4条 傍聴人は、次の事項を守らなければならない。

- (1) みだりに傍聴席を離れないこと。
- (2) 私語、談話、拍手等をしないこと。
- (3) 議事に批評を加え、又は賛否を表明しないこと。
- (4) 携帯電話、パソコン等の情報通信機器の電源を切ること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、会議の妨害となるような行為をしないこと。

(撮影等の禁止)

第5条 傍聴人は、傍聴席において写真等を撮影し、又は録音をしてはならない。ただし、特に議長の許可を得た者は、この限りではない。

(退場)

第6条 傍聴人は、公開できない議事の場合、又は議長から退場を命じられたときは、速やかに退場しなければならない。

(その他の指示)

第7条 この要領に定めるもののほか、傍聴人は議長の指示に従わなければならない。

別添資料

指定管理者の施設運営に関する取組状況等について

指定管理者資料

(なみきスクエアみらいネットワーク)



株式会社JT



九州地区舞台芸術運営協同組合

地域に調和し誰からも親しまれる 安心安全、快適な「くつろぎ」の維持管理

駐車場の混雑緩和対策

ホールでの大規模イベント開催時には、市営駐車場（200台）が満車になると出庫渋滞がおきます。それを解消するために事前に渋滞予想の案内チラシを入庫ゲートで配り、出庫時には出庫ゲートに職員を配置しスムーズな出庫をサポートしました。出庫渋滞についてのクレームはありませんでした。

3月から7月までの実施回数は、チラシ配布16回、出庫サポート36回です。



通勤・通学の不正駐輪防止対応

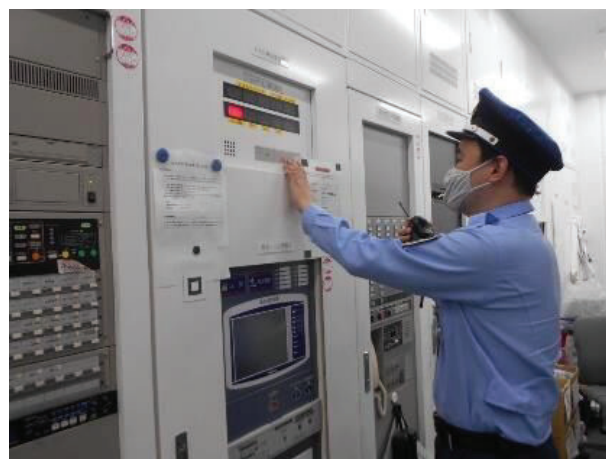
不正駐輪予防対策の一環として毎週不定期に平日2回程度、早朝（7:30～8:30）立哨を実施し、一定の成果がありました。最近では駐輪場の混雑と、バイクでの来館が増えているため、50ccを超えるバイクの駐輪ができないため課題となっています。

3月から7月迄で計11台の長期放置自転車がありました。内、盗難車2台を警察に引き渡し、残り9台を廃棄業者に引き渡しました。



トイレ非常呼び出し装置の作動点検

一昨年東京の地下鉄構内で起きた「非常呼び出し装置動作不良に絡む利用者死亡事故」を受け、トイレに設置された非常呼び出し装置の点検業務を、毎月1回実施しました。職員男女3名で館内9カ所のトイレを回り点検し、異常なしを確認しました。



確実な定期点検の実施による 施設の維持管理

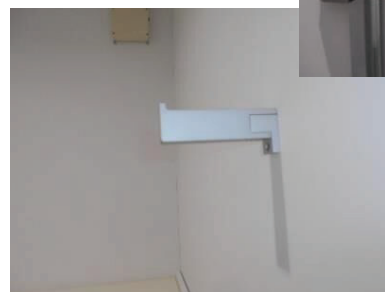
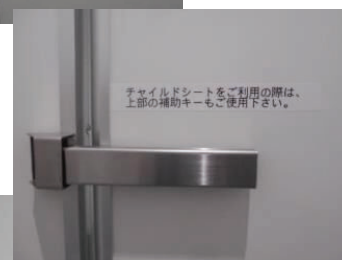
開館8年目に入り、特に空調設備に不具合が発生しました。4月の点検業者による定期点検で空調に関わる複数箇所の指摘があり、その後調査を重ね、福岡市の担当部署と協議をし修繕できる箇所は確実に行いました。まだ一部残っている箇所はありますが、夏に向けた快適な館内空調の環境を整えました。

- EHP-103（証明サービスコーナー）
- GHP-202（視聴覚室系統）
- GHP-101（会議室系統）
- EHP-101（管理事務室系統）
- EHP-102（東図書館系統）



ベビーシート設置個室トイレへの 安全措置対応

市民からの声を受けてコミュニティ施設整備課からの依頼により、ベビーシート設置の個室トイレ(館内14カ所)の既設スライドキーの位置から50cm上方に補助キーを設置しました。また車椅子利用者に配慮し多目的トイレ3カ所に折り畳み式の荷物掛けフックを追加設置しました。



救急搬送を迅速に対応(4回)

利用者の方が、体調を崩されたり、転倒したりして救急搬送する事案が多く発生しました。(4月8日、5月9日、7月16日、7月24日の4回)日によっては、搬送先の病院がなかなか決まらず、決まるまで1時間以上待機することもありましたが、いずれの方も無事に病院に搬送することができました。その後は特に問題はなかったと認識しています。

マイボトル給水機設置準備・機器 設置・供用開始(7/3～7/21)

福岡市環境局より、マイボトル給水機の設置協力依頼がありました。給排水管工事業者(7/3実施)と電源増設工事業者(7/6実施)との打ち合わせを行い、機器本体が設置され(7/20設置)、7月21日より供用されました。1回の給水量は他の施設と同様に350mlに設定されました。毎日100名～150名の方が利用されています。



防犯カメラ設備完全デジタル化 のための最終調査

令和5年2月に防犯カメラ33台の内9台の部分更新を終えた残りの24台のアナログシステムをデジタル化へ更新するための最終調査が7月21日に実施されました。今年度中にすべての防犯カメラをデジタル化し、さらに東図書館内に2カ所のカメラを増設する予定です。



建屋外壁Pコン補修のための 事前調査

令和5年度の大規模改修で外壁Pコン補修が市の施設整備公社対応で実施されます。そのための事前調査が7月13日に実施されました。設計事務所により、施工するための足場の設置場所や資材置き場の確認が行われました。問題になったのは専用駐車場入口付近の足場で、足場を組んだ期間、専用駐車場が利用不可になってしまいました。この件は、施設整備公社から生涯学習課に相談していただくようお願いしました。



コロナ禍でも安心してご来館いただける、 万全の感染防止対策(5/7までの対応)

利用者向け感染防止対策

1日最大24回(6
施設×4区分)実施

ホールや練習場で利用者が手に触れる可能性のあるすべての備品を利用前と後に都度アルコール消毒清掃

共有スペース感染防止対策

来館者の接触箇所を
1時間毎に消毒対応

管理事務室入口・職員用入口・トイレ・なでしこルームなどの、アクリル板、パーテーション、除菌対応

設備による感染防止対策

建築物衛生管理技術
者による換気対策

ひとりあたり毎時30㎡を維持するため空気調和設備を20~30%アップして外気の取入れによる換気向上

繊細な対応が必要なマイク・ピアノなどの精密機器も全職員で実施



足踏み式のアルコール消毒液噴霧器をエントランス4カ所に設置し、更なる感染拡大防止対策



清掃除菌努力だけでなく、専門技術者による換気設備向上の両面で対策強化

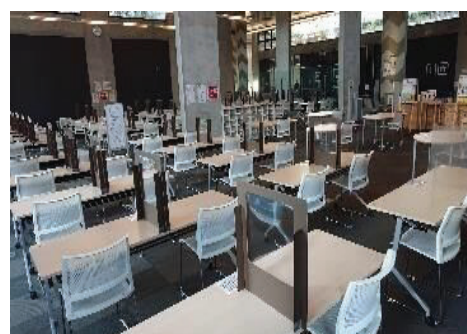


5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類になったことに伴い、館内のアルコール消毒液は撤収しました。受付にのみ消毒液を設置しています。職員は全員マスク着用で業務にあたりました。

利用者の利便性を損ねない 感染防止対策の強化

コロナ感染防止対策と利便性向上を両立するため、なでしこルームの席は86席を確保しつつ、各机にパーテーションを設置し、マスク未着用の方へは警備員による巡回時に着用をお願いをするなど感染防止対策を強化しました。6月24日以降は、パーテーションをなくし、円形机を設置し、席数を98席にしました。

土日祝日は、開館前になでしこルーム利用のために並ばれる方に対し、感染防止対策として距離をとって整列していただくよう警備員を配置しました。5月8日以降も整列維持のため継続しています。



市のコロナワクチン集団接種会場への 運営・感染拡大防止対策への積極的な貢献

コロナワクチン集団接種会場 運営への協力

5月8日～6月18日までの新型コロナウイルスワクチン集団接種会場の運営について積極的に協力し貢献しました。

備品 対応

机・イス・案内板や、接種後看護用の長椅子・簡易ベッドなどを必要に応じて随時準備し貸し出しました。

人員 配置

特別勤務シフトとして、管理職員の出勤時間を通常8:30のところ8:00出勤とし、朝の解錠など毎日の準備協力を行いました。

問合 対応

期間中のワクチン接種に関する問い合わせに対し、会場へのアクセスなどわかることについてはなるべくお答えし、接種申込関係であれば専用ダイヤルを案内し対応しました。



なみきスクエアでのワクチン集団接種は6月18日で終了し、6月24日からの通常開館に向けて、会場撤去後の会場設営に使用した机やイス、案内板などを確実に原状復帰すべく運営会社の方と一っしょに対応しました。運営会社の方との協力体制のもとトラブルなく接種会場の撤収と施設の原状復帰がスムーズに行われたものと考えています。

コロナワクチン集団接種会場終了後の 施設利用開始情報発信の迅速な実施

6月18日迄のワクチン集団接種会場終了後、6月24日からの開館に際し東市民センター・千早音楽演劇練習場それぞれの受付開始日の連絡を利用者にご不便をおかけしないよう、迅速なHPの更新、館内案内表示の修正に努めました。



通常開館後の利用開始がイレギュラーの対応になったため、利用者の皆様からは先の予約についての問い合わせが多数ありましたが、その都度丁寧に回答しご理解いただきました。

市の選挙・期日前投票への積極的な貢献と パブリックスペースのサービス向上

統一地方選挙
期日前投票所（4/2～4/9）
本投票所（4/10）
の開設に伴う対応

事前 対応

事前の下見・打ち合せから会場設営、投票実施日、会場撤去にかけて管理者が対応し、スムーズな投票所運営に協力しました。

当日 運営

- ・混雑や混乱を防ぐために施設管理者が列の誘導整理の協力を実施しました。
- ・特別対応として駐車場開場時間を6時15分、施設出入口開放時間を6時30分とし、7時からの投票開始に対応しました。
- ・期日前投票初日（4/2）は多くの投票者が来館され混雑防止のため管理者が列の誘導・整理に協力しました。

人員 配置

早朝対応に常駐警備員での対応の他、緊急対応として管理職員1名が5:00から待機し、投票開始に備えるとともに特別警備員を6:00から館内に配置しました。



3/22に実施された業者による会場設営では、大きな音の出るような作業であることから事前にワクチン会場運営責任者に伝え、当日は設営に立ち会い搬入経路の確保や必要に応じて一般来館者への影響のないように誘導や設営業者への指示を行いました。

マイナンバーカード臨時窓口や 高齢者乗車券チャージ機の対応

エントランス2の入口付近に、マイナンバーカードの新規発行とマイナポイント付与の出張サポート臨時窓口が設置されているため、マイナンバーカード全般にわたる多くの問い合わせがありました。電話での問い合わせには問い合わせ先の電話番号をお伝えするなど丁寧に対応しました。また、ひまわりひろば入口に設置された「高齢者乗車券チャージ機」の案内係の方が不在の期間は、問い合わせが多くなりましたが、わかる限りお答えし丁寧に対応しました。



毎日、「ポイントチャージ機」の案内のぼりの出し入れや、申請書・問い合わせスリップの在庫チェックを協力して行いました。



なでしこルーム利用者への サービス向上

コロナワクチン集団接種会場でなでしこルームが利用できなかった期間を除き、利用可能な期間は、これまで通り土日祝日に開館前からエントランス2に並ばれる利用者に対して、職員が15分早く出勤し8時半から整理券の配布を実施しました。また、列への割り込み防止対策として警備員を2名配置し整列を促しています。開館後すぐに満席になり、なでしこルームの入口で空席待ちの列ができる日もありました。整理券を配布しない平日でも、昼頃までにはほぼ満席になる状態で、需要が多いのあるスペースです。



整理券配布実施日：3月～4月・
6月24日～7月31日
の土日祝日
整理券配布日実績：延べ31日
整理券配布枚数数：447枚



一人一花運動の取組みと 七夕飾りの協力

・館内に四季折々のプランターや鉢を設置し、毎月入れ替えて来館者の皆様にお花を楽しんでいただけるよう取り組んでいます。

・東区企画振興課様がなみきスクエア共有スペース2カ所で実施された七夕飾りに協力しました。備品の段取りや施設職員と一緒に設営するなどし、七夕飾りを設置しました。7月1日から7日までの間、来館者の方には、短冊に願い事を書いて笹に下げていただきました



その他にも屋上緑地の散水や敷地内緑地の散水、市営千早駅前駐車場周辺の除草、なみきスクエア周辺緑地への薬剤散布などメンテナンスを実施し緑地管理を実施しています。



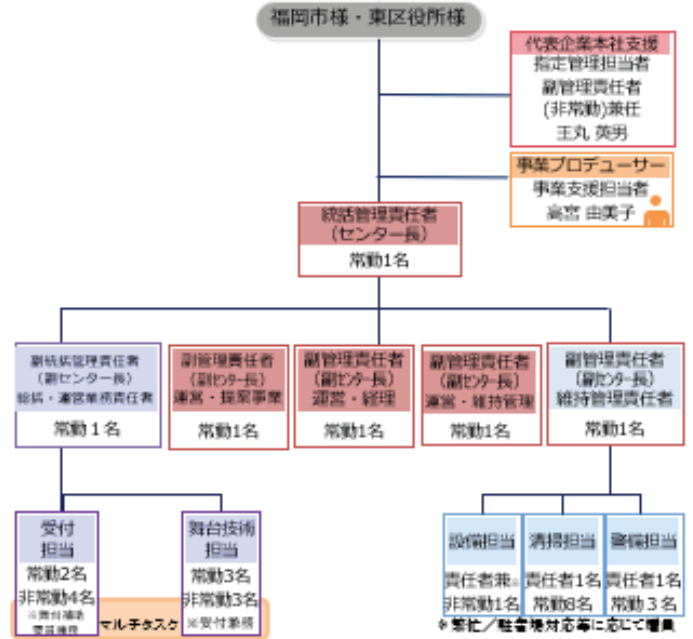
常に代表企業と構成企業が同じ方向性を向き 文化振興・社会貢献・市民サービス向上に 努める組織体制

適切な管理運営を行うための 要員確保と体制強化

現場要員を強化するとともに、代表企業と構成企業本部が運営サポートをする本社支援体制をとりました。提案事業を通じたコミュニティ育成は引き続きプロデューサーの高宮との運営体制をとりました。



応募提案時の正副管理者4名を7名にし
コロナ禍での様々な対応、利用者からの
様々な声に対する対応、また職員の働き
方改革の実施などに必要な人員体制を整
えました。



職員全員のスキルアップを 図るための休館日研修の実施

利用者へのサービス向上を目的として、職員のスキルアップを図るため、月1回の休館日は、職員全員が揃って出勤し様々な研修を実施しています。受付のワンストップ研修、維持管理責任者による電気・空調操作盤研修、東図書館と合同の消防訓練などを実施しました。



研修・育成活動名	対象者	概要	効果	時期・周期
定期研修 人権・コンプライアンス研修	施設全員	人権、個人情報、著作権他、知識の習得による人権CSR向上を図る研修	人権、市民の重要な個人情報を漏えいしない法令遵守意識の業務徹底を身に付ける	年1回以上
定期研修 総合防災訓練	施設全員	避難訓練、利用者誘導、災害時訓練、地震訓練、AED講習の実地訓練	震災ほか有事の際に利用者の安全を確保できる	年2回以上
定期研修 普通救命講習・感染症対応研修	施設全員	けが人や急病人が発生した場合の救命処置、感染症対応の実地講習	緊急時の対応規定と、感染症対応、利用者の安全を確保できる	年1回以上
定期研修 接遇研修 (ハリアフリー研修会)	運営全員	接遇基礎から年齢、性別、障がいをお持ちの方まで幅広い利用者へのホスピタリティを具体的に学ぶ	受付をはじめとした施設全体のサービスの向上を図る	年1回以上
専門研修 衛生推進者養成講習	安全衛生推進者	事業場の安全衛生管理の推進者講習	職場内に衛生推進者名を提示し、管理を徹底する	年1回
専門研修 維持管理基本研修 施設内行動規定、訓練	維持管理全員	各業務講習会、現職教育、環境管理の提起基礎教育(安心安全徹底、品質管理、ビジネスマナー等)	維持管理の基礎、現場理解、および、コミュニケーション能力・マナー	採用時、定期JIT
専門研修 維持管理 専門資格外部研修	維持管理該当者	清掃作業監督者研修、空気環境測定実地講習、空調給排水管理監督講習、清掃作業従事者指導者講習	様々な業務運営に関する専門知識や技術の向上のため、本社から作業員を派遣、専門技術の向上を図る	随時
専門研修 嘔吐物感染防止対策研修	施設全員	新型厚生労働省「感染症対策の基本知識」の研修により知識を取り入れることにより、迅速に対応するとともに、二次感染を防止する	過去事業を例にして、正しい知識や対応方法、嘔吐物などの対応処理、危険リスクの対応ができるようになる	年1回以上
専門研修 セキュリティ研修 (警備)	警備担当	新任時の警備業法に基づく警備員教育 警備業法に基づく現任業務教育	突発的なトラブルや事故発生に対して冷静に対応し、利用者の安全を守る能力と技術を高める	新任時 年1回
専門研修 応急手当研修	施設全員	成人、小児、乳児に対する心肺蘇生法やAEDの使用法、止血方法、傷病者管理、搬送法の教育	乳幼児や高齢者の身体的トラブルについて冷静に対処出来る	4年毎
専門研修 安全危機管理研修	舞台管理担当	ホールにおける機器トラブル、事故を例に施設に於ける予防処置対策を実施	突発的な機器トラブルや事故発生に冷静に対処出来る	年1回
専門研修 技術研修・ 劇場技術者認定講座	舞台管理担当	音響・照明・舞台の各分野の資格取得、実技研修、最新機器の情報交換、日常業務改善の専門研修	・市民の舞台芸術の創造を支える劇場ホールに従事する4,5千人の技術者を養成。 ・多角的な技術力の向上により、舞台演出の多様化と専門的な業務対応が行えるようになる	随時 年1回
専門研修 類似施設研修	舞台管理担当	類似の他施設を見学すると共に実務研修を実施	利用者との声と自らの課題解決に よるサービス向上	年1回以上
複合研修 施設間相互研修	施設、運営全員	事業企業、業政改善担当者同士で横断的に運営向上を図る研修	利用者の声と自らの課題解決に よるサービス向上	年1回以上
複合研修 ワンストップ研修	運営全員	管理者、給務スタッフ、受付スタッフ及びフロントスタッフと利用者の受付、舞台の対応ができるようになるための相互研修	ワンストップサービスの実現によりスムーズな問合せ対応が可能	年2回
複合研修 ユマニチュード研修	施設全員	フランス生まれの認知ケア「ユマニチュード」研修で相手を理解できるように表現する技法を学ぶ	お困りの方へのサポート力を身につけることによりサービスの向上	年1回
複合研修 交流文化事業研修	運営全員	文化芸術に関する基礎研修及び提案事業研修	提案事業のサービスの向上	年2回
複合研修 認知症サポーター養成講座研修	施設全員	受付業務者を中心に同講座を順次受講し、オレンジリングの取得を目指す	社会的包摂・ユニバーサルサービスの視点で受付・事業の業務推進することができる	年1回

令和5年度指定管理者提案事業実施計画一覧

分類	事業カテゴリ	事業名	概要	開催形式	予定時期	会場	料金	対象・定員
なみきスクエア地球舞台プロジェクト	都市ブランドの形成	①落語会『春風亭小朝落語会』東区芸術文化協力・連携事業	10月から12月におこなわれる『東区芸術文化祭』にあわせて、市民の皆様にご覧いただけるよう、なみきスクエアみらいネットワークは鑑賞事業として「春風亭小朝落語会」を開催。	主催	年1回 10月22日	なみきホール	有料 金額未定	一般
		②なみきをつくる・育てるカイギ	なみきスクエアの事業や運営に関わる人と交流の場づくり 「なみきスクエア地球舞台プロジェクト」＝「なみきスクエアCLUB」は、「はじめての○○」「遊びと学び」「ひろばづくり」「アートイベント」の4つのカテゴリで活動を行っている。なみきスクエアCLUBの核となるのが「なみきをつくる・育てるカイギ」で、なみきスクエアの事業や運営に関わる人と交流の場づくりを「ちはやをよくなる会」など地域の方々と一緒に連携して市民参加型で行う。	主催	年2回	オープンスペースなど	500円	一般
	子どもたちの育成	③おやこカフェ	乳幼児を持つ親子を対象とした居場所づくりと芸術文化活動へのきっかけづくりこれまで定着したママカフェに加えて父親の育児参加の向上を図るプログラムも導入する	主催	年10回	会議室など	無料	乳幼児親子
		④はじめての芸術	0,1,2歳の親子を対象とした芸術体験プログラム(はじめてのアフリカン公演)を開催(東区芸術文化祭)	主催	4月25日	なみきホール	1,000円	0,1,2歳の親子15組×2回
		⑤はじめての芸術	0,1,2歳の親子を対象とした芸術体験プログラム開発と人材育成、産後や育児期のママたちの子育て支援、社会参加促進をかね合わせたセミナー(ペイペインアターを創ろう!ママたちのためのワークショップ)	共催	4月23日	視聴覚室など	8,000円	主に産後育児期のママ
		⑥パパママスクール	乳幼児期の子育てをするパパママを応援するスクール	主催	年1回	ひまわりひろば、第2実習室など	1,000円	0,1,2歳の父親母親10組
		⑦コミュニティスクール ホール公演	遊びと学びのコミュニティスクールが年間を通して活動した成果発表としてオリジナルの舞台公演を地域の親子を対象に行う。子どもから大人まで参加いただけるホール公演	主催	3月	なみきホール	1,000円	一般
	共生社会参加の機会づくり	⑧なみき芸術文化祭(協力・共催)	プロによるホールでのコンサートを実施 出演は九州管弦楽団を予定	共催	11月	なみきホール	有料 金額未定	一般
		⑨東部療育センター芸術体験プログラム	障がいを持つ子どもとその親を対象とした芸術体験プログラム	主催	7月	東部療育センター	無料	東部療育センターに通う親子
		⑩なみきクッキング	東区の新旧コミュニティを料理でつなぐ	主催	年4回	第2実習室	2,000円	一般
		⑪よかトレ	福岡市の事業である福岡100への取組と、東区の核となる施設として地域における介護予防の推進	主催	10月より実施	ひまわりひろば	無料	一般
		⑫認知症予防フレンド養成講座	認知症や認知症ケア、認知症の予防について学び、認知症に優しいまちづくりへの取り組み	主催	年1回	会議室など	無料	一般
	地域歴史文化とコミュニティ	⑬遊びと学びのコミュニティスクール	幼児から中学生までの異年齢の総合的な芸術文化活動とコミュニティづくり	主催	10月より全34日	練習室、ひまわりひろば、会議室など	30,000円	幼児から小学生の親子
		⑭舞台芸術ワークショップ講座	舞台芸術のワークショップを通してアマチュア演劇の技術者を養成。	主催	年2回	なみきホールなど	1,500円	高校～一般
		⑮なみきホール避難訓練コンサート	大勢の人が一度に集まる公共施設での災害発生時にパニックを起こさないよう避難訓練とコンサート	主催	2月	なみきホール	2,000～4,000円	一般
		⑯スタインウェイピアノをなみきホールで奏でる体験会	地域の一般の方や練習場利用者などに施設ならびピアノを体験してもらおう試み	主催	年2回	なみきホール	無料	どなたでも
		⑰いけばな体験会	第1実習室の稼働率アップと「一人一花運動」の展開	主催	年4回	第1実習室	2000円	一般
	インバウンド施策展開	⑱オープンスペースイベント	なみきスクエアの認知度を高め親しみと愛着を持っていただくための公共空間を活用したワークショップを開催(東区芸術文化祭)	主催	12月	オープンスペース	未定	一般
		⑲キビるフェス	音楽・演劇練習場が連携して、全国と福岡の舞台芸術団体や観客、舞台芸術活動の場を結ぶ芸術祭を実施	主催	2月	大練習室	2,000～4,000円	一般
	東区生涯学習推進課よりの移管事業	⑳多文化共生事業(東区歴史の魅力再発見事業)	多文化共生の視点を踏まえ、主に東区在住の外国人を対象に地域巡りなどのイベントを実施。	主催	未定	会議室など	無料	東区在住外国人
㉑多文化共生事業		東区における外国人居住者の増加を踏まえ、外国の文化を学ぶとともに、交流の機会をつくり、生活者として相互を理解し、外国人と共生する地域づくりを目指す取り組みを実施。	主催	未定	会議室など	無料	一般	
㉒東区人権セミナー①		日頃の暮らしの中にある様々な事柄について人権の視点から取り上げ、人権が大切にされる社会の在り方について学ぶ事業を実施。	主催	7月26日	なみきホール	無料	一般	
㉓東区人権を考えるつどい		男女が互いにその人権を尊重しながら責任を分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するためには何をすべきか、何が必要かを考える。	主催	9月26日	なみきホール	無料	一般	
	㉔東区人権セミナー②	日頃の暮らしの中にある様々な事柄について人権の視点から取り上げ、人権が大切にされる社会の在り方について学ぶ事業を実施。	主催	2月14日	なみきホール	無料	一般	
独創的な取り組み								
都市ブランドの形成	㉕地域情報誌の発刊	地域となみきスクエアをつなぐ地域情報誌を発行。子育て層を主なターゲットに東区に住む人、興味を持つ人に向けて、そこで活躍する人を紹介しながら、魅力的なスポットや歴史、食について、情報を掲載。 ZINE(じん)は、好きなテーマや自由な手法で制作する冊子のことで、東に住む人、興味を持つ人ともかけ合わせた意味合いで、情報誌のタイトルを「東ZINE(ひがしじん)」と命名。東区の公民館や福岡市の公共施設などで配布	主催	年2回		無料	一般	

子どもたちの育成

はじめての芸術「はじめてのアフリカン ○△□ちゃん」

「はじめての芸術」は、生まれて間もない子どもたちが、親と共に一人の観客として本物の芸術に出会うことを通して感性とコミュニケーション力を育むことを目的に、コンサートやワークショップを実施しています。今回は、劇団AFRICAによる、6ヶ月～2才の子どもたちと親と一緒に楽しめるアフリカの音楽やダンスのパフォーマンスショーを開催しました。

実施日：4月25日（火）（1回目）9:30～10:30
（2回目）11:00～12:00

場所：なみきホール

参加者：（子ども）①12名 ②11名
（大人）①12名 ②12名



子どもたちの育成

はじめての芸術 ママたちのためのワーク ショップ「「ベイビーシアターをつくろう！」」

乳幼児をもつママたちの社会参加を応援する、はじめての芸術特別企画『ママたちのためのワークショップ「ベイビーシアターをつくろう！」』を開催しました。脳科学・心理学の専門家であり演出家のジャッキー・e・チャン氏（韓国）をメイン講師に迎え、赤ちゃんの心身の発達と芸術体験についてのレクチャーがあり、それを踏まえ参加者が自らの得意分野を活かした作品(ベイビーシアター)づくりに取り組みました。

実施日：4月23日(日)～24日(月)

場所：視聴覚室 ※24日はアクロス福岡

参加者：（子ども）3名
（大人）23名



子どもたちの育成

ママカフェ・おやこカフェ

月に一度、気軽にお茶を飲んだりお子さんと遊んだりしながら、ゆっくりとくつろいでもらえる場を提供するために開催した「ママカフェ」は、令和5年度から「おやこカフェ」としてリニューアルしました。乳幼児を持つパパもママと一緒に家族で参加でき、子育て世代の交流の場となりました。

実施日：ママカフェ3月8日
おやこカフェ5月20日・6月29日
・7月15日

場所：ひまわりひろば会議室1・2、
第1多目的室

参加者：(子ども) 延べ 72名
(大人) 延べ 77名



コミュニティスクール ホール公演

遊びと学びのコミュニティスクールが年間を通して活動した成果発表としてオリジナルの舞台公演を行いました。宮沢賢治の物語の世界を演じる「小さなちいさな風の中の賢治たち～ココロとカラダで旅するイーハトーブの世界～」の公演を行い、多くの方々から感動の声をいただいた素晴らしい公演になりました。

実施日：3月26日(土)
1回目11:30開演 2回目15:00開演

場所：なみきホール
参加者：1回目 156名
2回目 179名



地域歴史文化とコミュニティ

スタインウェイピアノをなみきホール舞台上で奏でる見学会

プロアマ問わず多くの方が憧れるスタインウェイピアノ。音響効果に優れたなみきホールで、その響きを体験していただくことを目的に実施しています。参加者からは、『スタインウェイピアノを初めてステージで弾くことができて幸せでした。』『立派なホールでスタインウェイピアノを弾けることはとても嬉しく、気持ちがよくなります。』などのお声をいただきました。

実施日：①3月16日(木)・②3月22日(水)
場所：なみきホール
参加者：①12組31名・②12組17名



地域歴史文化とコミュニティ

遊びと学びのコミュニティスクール

「遊びと学びのコミュニティスクール」は子どもの心と身体、感性とコミュニケーションの力を育むために、年間を通して、身体表現を中心としたワークショップや様々な体験活動を行っています。

その中で得られた経験を活かし、みんなで協力しながら3月のなみきホールを利用した舞台公演をつくり上げました。

実施日：3月4日～19日の土日、20日～25日まで
計12回

場所：大練習室、ひまわりひろば会議室1・2、
多目的スペース

参加者：(子ども) 12回延べ189名



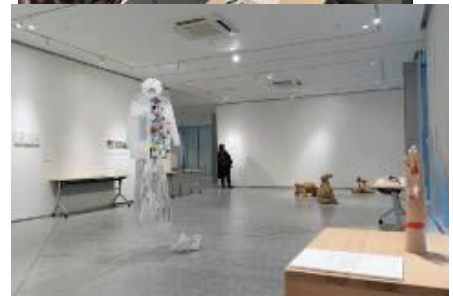
アートスクール(大人対象)

芸術を通して多様性を育み、考え実践する「なみきアートスクール」の最後の授業では「なみきアートスクール成果発表成果発表展」として、作品展覧会を開催しました。

実施日：3月12日(日)・3月20日(月)～23日(木)

場所：ひまわりひろば会議室1、多目的スペース

参加者：5名



いけばな体験会

福岡市の「一人一花運動」の取り組みと連携した事業として実施しました。華道池坊教授&フリースタイル講師 松田美風氏によるはじめての方でも生けやすく、経験者の方もより楽しく生け花を体験していただける講座です。参加者は楽しんで生け花を体験されながらも、先生の手直しには熱心に聞き入っていました。参加者アンケートで「初めてでしたがとても楽しかった」「先生が明るい方で良かった」と高評価をいただきました。

実施日：7月27日(木) 13:00～15:00

場所：第1実習室

参加者：8名



令和5年度第1回東区人権セミナー

日頃の暮らしの中にある様々な事柄について人権の視点から取り上げ、人権が大切にされる社会の在り方について学ぶ事業を実施しました。講師には、福岡市スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの堀井智帆(ほりいちほ)さんをお招きし「生まれて来てくれてありがとう～少年相談の現場から～」という演題で「子どもとの関わり方について」語っていただきました。

300名定員で募集しましたが、263名の申込がありました。当日は事前申込の方218名に加え、人尊協関係者や当日受付等を含め、261名の参加となりました。参加者の皆様からは、『貴重な熱いお話をお聞かせいただき、ありがとうございました。』や『熱い想いで親と子の支援を続けられている姿に刺激を受けました。』『自分の子どもとの向き合い方の勉強になりました。』といった声が数多く寄せられました。

参加者アンケートでは（回収枚数：195枚）

「本日のセミナーを聴いて人権に関する理解は深まりましたか。」の項目で、「深まった」82%、「やや深まった」17%と、合計99%の参加者の方に大変高い評価をいただきました。

実施日時：7月26日(水) 14:00～15:30

場所：なみきホール

参加人数：261名

